

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-8280
 住 所 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
 氏 名 株式会社 日立製作所
 執行役社長 東原 敏昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 日立製作所		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	発電機・電動機・その他の回転電気機械製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,360	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ~ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策及び環境活動の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.hitachi.co.jp/environment/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,969 (調) 4,893 t-CO ₂	(実) 5,131 (調) 5,054 t-CO ₂	(実) 4,603 (調) 4,535 t-CO ₂	(実) 4,636 (調) 4,567 t-CO ₂	(実) 5,254 t-CO ₂
削減率		(実) -3.3 (調) -3.3 %	(実) 7.4 (調) 7.3 %	(実) 6.7 (調) 6.7 %	(実) -5.7 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量原単位等の値	0.09896	0.1022	0.09167	0.09233	0.1046	
削減率		-3.3 %	7.4 %	6.7 %	-5.7 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	事務所稼働の増加に伴い、温室効果ガスの排出量は基準年度比で3.3%増加したが、冷水1次・2次ポンプ更新による熱搬送エネルギー効率向上等により、温室効果ガスの排出量増加を抑制した。
第2年度	主要プロジェクトの完了に伴い事務所稼働時間並びに人員が減少した。また、空調設備の整備を行い性能・効率低下の防止したことにより温室効果ガスの排出量は基準年度比で7.4%低減することが出来た。
第3年度	都内の他拠点ビルから1,000名単位の移転受入れがあり事務所稼働が増加したが、ターボ冷凍機運転時間の短縮及び空調機更新(2台)による性能・効率低下の防止措置により温室効果ガスの排出量は基準年度比で6.7%低減することが出来た。また、計画期間内で定期的な設備更新及び設備運用の改善を行い目標排出量5,254t-CO ₂ に対して第3年度の排出量は4,636t-CO ₂ となり計画値を達成した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の保安全管理行う ○設備単位によるエネルギー管理等の徹底 ○主要設備等の性能・効率低下の防止のための、定期的な保守、点検の実施 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 ○空気調和の管理 ○照明設備の運用管理
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の保安全管理を行う 保守委託業者と協議し主要設備の管理標準の見直し、更なる改善を実施した。 ○設備単位によるエネルギー管理等の徹底 付帯設備種別ごとのエネルギー使用量管理表により毎月のエネルギー使用量を把握し、増減要因の分析を実施した。 ○主要設備等の性能・効率低下の防止のための、定期的な保守、点検の実施 冷水1次・2次ポンプ(6台)更新による性能・効率低下の防止を図った。 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 毎月エネルギー原単位を算出し、増減の管理を実施した。 ○空気調和の管理 クールビズ、ウォームビズの実施、徹底 ○照明設備の運用管理 過剰、不要照明点灯防止のため蛍光灯間引きを実施した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の保安全管理を行う 設備単位によるエネルギー管理の徹底として、付帯設備種別ごとのエネルギー使用量管理表により毎月のエネルギー使用量を把握し、増減要因の分析を実施した。 ○主要設備等の性能・効率低下の防止のための、定期的な保守、点検の実施 空調設備の整備による性能・効率低下の防止を図った。 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 毎月エネルギー原単位を算出し、増減の管理を実施した。 ○空気調和の管理 クールビズ、ウォームビズの実施、徹底 ○照明設備の運用管理 過剰、不要照明点灯防止のため蛍光灯間引きを継続実施した。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の保安全管理を行う 設備単位によるエネルギー管理の徹底として、付帯設備種別ごとのエネルギー使用量管理表により毎月のエネルギー使用量を把握し、増減要因の分析を実施した。 ○主要設備等の性能・効率低下の防止のための、定期的な保守、点検の実施 空調機(2台)の更新を行い性能・効率低下の防止を図った。 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 毎月エネルギー原単位を算出し、増減の管理を実施した。 ○空気調和の管理 クールビズ、ウォームビズの継続実施、徹底 ○照明設備の運用管理 過剰、不要照明点灯防止のため蛍光灯間引きを継続実施
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	削減量及び削減率の定量化が困難なため該当事項無し
第1年度	削減量及び削減率の定量化が困難なため該当事項無し
第2年度	削減量及び削減率の定量化が困難なため該当事項無し
第3年度	削減量及び削減率の定量化が困難なため該当事項無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した製品の拡大 環境に配慮した製品として、製品ライフサイクルでの環境負荷低減を目指した製品、システム、サービスを拡充する ○グリーン購入の推進 ○廃棄物の減量化、分別化の推進 ○従業員への環境教育の実施
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した製品の拡大を実施 ○事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 ○事業所から排出される廃棄物の減量化および、分別化の推進を行った。 ○eラーニングによる従業員への環境教育を実施した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した製品の拡大を継続 ○事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 ○事業所から排出される廃棄物の減量化および、分別化の推進、従業員への廃棄物教育を行った。 ○eラーニングによる従業員への環境教育を実施した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した製品の拡大を継続 ○事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 ○事業所から排出される廃棄物の減量化および、分別化の推進、従業員への廃棄物教育を行った。 ○eラーニングによる従業員への環境教育を実施した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,406	t-CO ₂
(調)	4,305	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日立システムプラザ新川崎	神奈川県川崎市麻生区麻生 1 丁目 1 番 2 号	3911	受託開発ソフトウェア業	4,406 t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂
		0	0	t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--